



# 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場取引所 東大

上場会社名 ユニチカ株式会社

コード番号 3103 URL <http://www.unitika.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安江 健治

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 石川 省二

TEL 06-6281-5721

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	87,075	△2.5	4,888	8.2	2,594	15.7	1,039	△9.6
23年3月期第2四半期	89,281	△1.0	4,517	14.6	2,243	16.9	1,149	86.4

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 1,351百万円 (24.7%) 23年3月期第2四半期 1,083百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	1.95	1.84
23年3月期第2四半期	2.42	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	279,326	32,353	10.3
23年3月期	268,740	25,977	8.3

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 28,636百万円 23年3月期 22,336百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	178,500	△1.2	12,500	18.9	8,000	30.7	3,500	43.2	6.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	572,960,324 株	23年3月期	475,969,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	568,871 株	23年3月期	561,784 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	531,994,768 株	23年3月期2Q	475,420,056 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
4. 補足資料 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災後、大幅に落ち込みましたが、寸断されたサプライチェーンの立て直し、それに伴う需要の回復及び供給面の制約が概ね解消したことにより持ち直し、夏場の電力不足も節電や輪番操業などで乗り切りました。しかしながら、欧米景気の減速など世界経済の変調による外需の縮小や急激な円高の進行によって輸出環境が悪化しており、中国など新興国の成長は引き続き期待できるものの、先行きには不透明感が一段と高まっています。

このような状況の下、当社グループは、本年度が最終年度となる中期経営3カ年計画『改革'11』に掲げる施策に基づき、構造改革を引き続き推進するとともに、繊維事業の収益立て直し、機能資材メーカーとして高分子などの事業強化を図ってまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間につきましては、売上高は87,075百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益は4,888百万円（同8.2%増）、経常利益は2,594百万円（同15.7%増）、四半期純利益は1,039百万円（同9.6%減）となりました。

なお、中間配当につきましては、引き続き見送ることとさせていただきますので、何とぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

セグメント別の状況は次の通りです。

#### 【高分子事業】

フィルム事業では、包装分野は、ナイロンを中心に活発な需要に支えられ売上が大幅に伸長したほか、差別化品の拡販が進んだこともあり、業績を伸ばしました。一方、工業分野は、IT・液晶関連での生産調整による販売数量の落込み、品質向上などを目的とした一部生産設備改造のための一時的停止もあり、減収となりました。この結果、事業全体で増収増益となりました。

樹脂事業では、ナイロンは、主要の自動車用途の販売減と原燃料価格高騰の影響を受け、苦戦しました。ポリエステルは、ボトル用途の売上が減少し、接着剤用途の伸長で一部収益をカバーしましたが、原燃料価格高騰により採算は悪化しました。一方、当社独自のポリアリレート樹脂「Uポリマー」は、事務機器・精密機器用途などで販売が堅調に推移し、収益に貢献しましたが、全体で減収減益となりました。

不織布事業では、ポリエステルスパンボンドは、農業・ルーフィング・土木用途が堅調に推移し、自動車・生活資材用途の需要減をカバーしましたが、原燃料価格上昇分を価格改定で十分に吸収できず、また円高による輸出品の採算悪化もあり苦戦しました。綿スパンレースは、夏期の節電対策の影響でウェットシート用途が好調に推移しました。この結果、事業全体で増収となり、利益は横ばいとなりました。

バイオマスプラスチック「テラマック」は、フィルム、樹脂、不織布、繊維の各分野で積極的に展開しています。震災影響で一部顧客の減産により数量が落ち込んだ用途もありますが、生活雑貨用途を中心に採用は着実に進んでいます。

以上の結果、高分子事業の売上高は35,397百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は4,939百万円（同0.7%減）となりました。

#### 【機能材事業】

機能材事業では、ガラス繊維は、内装材用途が新規建築物の伸び悩みにより、また自動車用途が生産調整により、それぞれ苦戦したものの、ビル・土木改修用途が堅調に推移し、その他の用途も伸長しました。ICクロスは、輸出の売上とともに、超薄物タイプなどの高付加価値品が伸長したものの、震災影響で一部顧客の稼働率低下により伸び悩み、全体的には採算は引き続き厳しい状況で推移しました。ガラスビーズは、ロードマーキング用途は堅調でしたが、工業用途は高付加価値品の受注が、震災影響で来期へずれ込んだことなどにより減収となり、反射材用途も輸出先である欧米の景気悪化と円高により苦戦しました。また、活性炭繊維は、水栓内蔵型などの浄水器用途や業務用マスク用途が伸長しました。

以上の結果、機能材事業の売上高は7,754百万円（同2.8%増）、営業利益は814百万円（同0.5%増）となりました。

### 【繊維事業】

産業繊維事業では、ポリエステル高強力糸が建築・土木用途で堅調に推移しましたが、ポリエステル短繊維は、売上が伸長したものの円高による採算悪化や原燃料価格上昇分を価格改定で十分に吸収できなかったため、収益は厳しい状況となりました。また、ビニロン繊維は、アスベスト代替のセメント補強用途で欧州市況の回復遅れをカバーすべく、新興国市場での新規開拓を行い、全体的な販売数量は増加しましたが、価格競合、円高、原燃料価格高騰の影響などにより採算面で苦戦し、収益改善には至りませんでした。

衣料繊維事業では、ユニフォームが官需・民需とも好調に推移しました。また、ポリエステル長繊維などの差別化糸の売上が増加しました。スポーツ・レディス分野では、節電意識の高まりから秋冬物の保温性機能素材の販売が堅調に推移しました。衣料繊維事業の売上は、選択と集中により減少傾向にありますが、収益の改善が一層進みました。

以上の結果、繊維事業の売上高は38,067百万円（同0.6%減）、営業利益は386百万円（同858.9%増）となりました。

### 【その他】

生活健康事業では、ハナビラタケ関連商品などの健康食品や飼料原料は堅調に推移しましたが、食品機能素材は、国内の需要低迷などにより苦戦しました。メディカル事業では、医用材料分野は、循環系カテーテルが伸長し、生化学分野は、酵素が欧米向けの輸出で苦戦しましたが、診断薬は伸長し、全体として堅調に推移しました。また、マンション販売など不動産関連事業は、概ね堅調に推移しました。

以上の結果、環境プラント事業譲渡の影響などから、その他の売上高は5,855百万円（同43.6%減）となり、営業損失は56百万円（前年同期は18百万円の損失）となりました。

## （2）連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前期末に比べ10,585百万円増加し、279,326百万円となりました。これは、主として現金及び預金、たな卸資産及び有形固定資産が増加したことによります。負債は、前期末に比べ4,210百万円増加し、246,972百万円となりました。これは、主として借入金が増加したことによります。純資産は、前期末に比べ6,375百万円増加し、32,353百万円となりました。これは、主として新株予約権の行使による資本金及び資本剰余金の増加及び利益剰余金が増加したことによります。

また、キャッシュ・フローの状況については次のとおりです。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益に減価償却費を加えたキャッシュ・イン・フローがありましたが、売上債権及びたな卸資産の増加等により、274百万円の資金の減少（前年同期は2,733百万円の資金の増加）となりました。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資に伴い5,279百万円を支出したことなどにより、5,418百万円の資金の減少（前年同期は1,553百万円の資金の減少）となりました。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金による調達及び転換社債型新株予約権付社債の発行により、9,433百万円の資金の増加（前年同期は2,383百万円の資金の減少）となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ3,813百万円増加し、20,403百万円となりました。

## （3）連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期の業績は、概ね当初の計画通り推移しました。従いまして、平成23年5月10日に公表しました通期の連結業績予想の修正はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

### (追加情報)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,786	20,602
受取手形及び売掛金	41,898	43,177
たな卸資産	46,615	49,922
その他	4,514	4,250
貸倒引当金	△233	△221
流動資産合計	109,580	117,731
固定資産		
有形固定資産		
土地	104,606	104,799
その他（純額）	47,062	49,599
有形固定資産合計	151,669	154,399
無形固定資産		
のれん	3	25
その他	727	773
無形固定資産合計	731	798
投資その他の資産		
その他	7,368	6,988
貸倒引当金	△609	△591
投資その他の資産合計	6,758	6,397
固定資産合計	159,159	161,594
資産合計	268,740	279,326

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,952	22,708
短期借入金	73,893	71,554
1年内返済予定の長期借入金	37,480	33,271
未払法人税等	325	319
賞与引当金	1,160	1,553
工事損失引当金	—	13
事業構造改善引当金	624	276
その他	10,869	11,539
流動負債合計	149,306	141,237
固定負債		
長期借入金	71,176	82,502
退職給付引当金	5,651	6,341
役員退職慰労引当金	71	59
その他	16,556	16,831
固定負債合計	93,456	105,735
負債合計	242,762	246,972
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,798	26,298
資本剰余金	1,661	4,161
利益剰余金	△1,943	△905
自己株式	△55	△55
株主資本合計	23,460	29,498
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△49	△69
繰延ヘッジ損益	43	△6
土地再評価差額金	2,452	2,453
為替換算調整勘定	△3,569	△3,238
その他の包括利益累計額合計	△1,123	△862
少数株主持分	3,641	3,716
純資産合計	25,977	32,353
負債純資産合計	268,740	279,326

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	89,281	87,075
売上原価	72,568	70,126
売上総利益	16,713	16,948
販売費及び一般管理費	12,196	12,060
営業利益	4,517	4,888
営業外収益		
受取利息	92	70
受取配当金	72	66
持分法による投資利益	7	—
その他	563	586
営業外収益合計	735	723
営業外費用		
支払利息	1,820	1,636
持分法による投資損失	—	157
その他	1,189	1,222
営業外費用合計	3,009	3,016
経常利益	2,243	2,594
特別利益		
固定資産売却益	293	16
特別利益合計	293	16
特別損失		
固定資産処分損	213	299
投資有価証券評価損	431	8
事業構造改善費用	206	482
退職給付制度終了損	13	291
その他	614	162
特別損失合計	1,479	1,244
税金等調整前四半期純利益	1,056	1,366
法人税、住民税及び事業税	388	227
法人税等調整額	△507	88
法人税等合計	△118	315
少数株主損益調整前四半期純利益	1,175	1,050
少数株主利益	26	11
四半期純利益	1,149	1,039

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,175	1,050
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	86	△20
繰延ヘッジ損益	△8	△49
為替換算調整勘定	△149	389
持分法適用会社に対する持分相当額	△20	△19
その他の包括利益合計	△92	300
四半期包括利益	1,083	1,351
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,074	1,300
少数株主に係る四半期包括利益	8	50

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,056	1,366
減価償却費	3,087	2,789
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	134	△21
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	635	683
事業構造改善引当金の増減額 (△は減少)	△263	△348
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△65	395
支払利息	1,820	1,636
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,081	△1,247
たな卸資産の増減額 (△は増加)	3,655	△3,269
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,701	△2,238
その他	52	1,738
小計	4,330	1,484
利息及び配当金の受取額	415	150
利息の支払額	△1,809	△1,684
法人税等の支払額	△202	△225
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,733	△274
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△161	△2
投資有価証券の取得による支出	△10	△32
投資有価証券の売却による収入	15	7
有形固定資産の取得による支出	△2,161	△5,279
有形固定資産の売却による収入	850	35
その他	△86	△148
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,553	△5,418
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,603	△2,468
長期借入れによる収入	16,087	27,580
長期借入金の返済による支出	△14,449	△20,460
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	—	5,000
社債の償還による支出	△200	—
その他	△218	△217
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,383	9,433
現金及び現金同等物に係る換算差額	△148	73
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,351	3,813
現金及び現金同等物の期首残高	20,160	16,589
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,809	20,403

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能材 事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	33,080	7,543	38,280	78,905	10,376	89,281	—	89,281
セグメント間の内部売上 高又は振替高	15	9	86	111	994	1,105	△1,105	—
計	33,096	7,553	38,367	79,016	11,371	90,387	△1,105	89,281
セグメント利益又は損失 (△)	4,974	810	40	5,825	△18	5,806	△1,289	4,517

(注) 1. その他には、環境事業、メディカル事業、生活健康事業、不動産関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,289百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能材 事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	35,397	7,754	38,067	81,219	5,855	87,075	—	87,075
セグメント間の内部売上 高又は振替高	5	23	104	134	986	1,120	△1,120	—
計	35,403	7,778	38,172	81,354	6,842	88,196	△1,120	87,075
セグメント利益又は損失 (△)	4,939	814	386	6,140	△56	6,084	△1,195	4,888

(注) 1. その他には、環境事業、メディカル事業、生活健康事業、不動産関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,195百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間において、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の転換（行使）により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ2,500百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が26,298百万円、資本剰余金が4,161百万円となっています。

4. 補足資料

1. 業績及び24年3月期業績予想（連結）

（百万円）

			売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	
連結	22/3	年間	182,239	8,543	4,476	3,036	
		第2Q	89,281	4,517	2,243	1,149	
	23/3	年間	180,706	10,513	6,119	2,444	
		第2Q	87,075	4,888	2,594	1,039	
	前年比較	年間(予想)	年間(予想)	178,500	12,500	8,000	3,500
			第2Q	△ 2,206	371	351	△ 110
		年間(予想)	△ 2,206	1,987	1,881	1,056	

2. セグメント情報（連結）

（百万円）

			高分子	機能材	繊維	その他	消去・全社	連結
前年実績	22/9	外部売上高	33,080	7,543	38,280	10,376	—	89,281
		構成比(%)	37.1	8.4	42.9	11.6	—	100.0
		営業利益	4,974	810	40	△ 18	△ 1,289	4,517
		構成比(%)	110.1	17.9	0.9	△ 0.4	△ 28.5	100.0
	23/3	外部売上高	67,016	14,931	77,095	21,662	—	180,706
		構成比(%)	37.1	8.3	42.7	12.0	—	100.0
		営業利益	10,550	1,771	840	952	△ 3,600	10,513
		構成比(%)	100.4	16.8	8.0	9.1	△ 34.2	100.0
当期実績	23/9 (実績)	外部売上高	35,397	7,754	38,067	5,855	—	87,075
		構成比(%)	40.7	8.9	43.7	6.7	—	100.0
		営業利益	4,939	814	386	△ 56	△ 1,195	4,888
		構成比(%)	101.0	16.7	7.9	△ 1.1	△ 24.4	100.0
	24/3 (予想)	外部売上高	71,000	15,500	77,000	15,000	—	178,500
		構成比(%)	39.8	8.7	43.1	8.4	—	100.0
		営業利益	10,800	2,100	1,500	1,400	△ 3,300	12,500
		構成比(%)	86.4	16.8	12.0	11.2	△ 26.4	100.0
前年比較	23/9 (実績)	外部売上高	2,317	211	△ 213	△ 4,521	—	△ 2,206
		増減率(%)	7.0	2.8	△ 0.6	△ 43.6	—	△ 2.5
		営業利益	△ 35	4	346	△ 38	94	371
		増減率(%)	△ 0.7	0.5	858.9	—	△ 7.3	8.2
	24/3 (予想)	外部売上高	3,984	569	△ 95	△ 6,662	—	△ 2,206
		増減率(%)	5.9	3.8	△ 0.1	△ 30.8	—	△ 1.2
		営業利益	250	329	660	448	300	1,987
		増減率(%)	2.4	18.6	78.6	47.1	△ 8.3	18.9

3. 設備投資実施額・減価償却費（有形固定資産）・研究開発費・有利子負債・金融収支・正従業員数（百万円、人）

		設備投資 実施額	減価 償却費	研究 開発費	有利子 負債(期末)	金融 収支	正従業員数 (人)
22/3	年間	3,566	6,592	3,866	193,380	△ 3,438	5,037
22/9	第2Q	2,521	3,004	1,820	191,071	△ 1,655	4,937
23/3	年間	4,437	6,106	3,615	182,550	△ 3,261	4,845
23/9	第2Q	5,627	2,706	1,886	187,329	△ 1,499	4,748
24/3	年間(予想)	9,615	5,776				

4. キャッシュ・フロー（連結）

（百万円）

		営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物の 期末残高
22/3	年間	14,286	△ 2,683	△ 1,175	20,160
22/9	第2Q	2,733	△ 1,553	△ 2,383	18,809
23/3	年間	10,416	△ 2,959	△ 10,844	16,589
23/9	第2Q	△ 274	△ 5,418	9,433	20,403